

**平成31年度
研究指導所属学生募集要項**

経済学部

目次

平成 31 年度研究指導所属学生募集要項	1
研究指導応募資格・履修資格	2
4 コース制の導入について	4
研究指導Ⅱ履修要件	5
申請書（見本）	9
志望動機書（見本）	10
オフィスアワー参加証（見本）	11

教員別ゼミ案内

理論・計量コース

芦谷 政浩 教授・中村 保 教授	12
難波 明生 教授・羽森 茂之 教授	13
春山 鉄源 教授・松林 洋一 教授	14
宮川 栄一 教授・小林 照義 准教授	15
末石 直也 准教授	16

金融・国際コース

岩壺 健太郎 教授	16
金京 拓司 教授・胡 云芳 教授	17
中西 訓嗣 教授・西山 慎一 教授	18

産業・社会・政策コース

藤田 誠一 教授・玉岡 雅之 教授	19
竹内 憲司 教授・豊谷 整克 教授	20
萩原 泰治 教授・藤岡 秀英 教授	21
中村 健太 准教授・水野 倫理 准教授	22
宮崎 智視 准教授・勇上 和史 准教授	23

歴史・思想・比較コース

奥西 孝至 教授・重富 公生 教授	24
永合 位行 教授・吉井 昌彦 教授	25
綿貫 友子 教授・鈴木 純 准教授	26

大学院・学部共通授業科目の開講について	27
---------------------	----

平成31年度 研究指導所属学生募集要項

1. 募集教員30名

教授 (23名)	芦谷 政浩 重富 公生 中村 保 羽森 茂之 宮川 栄一	岩壺 健太郎 竹内 憲司 永合 位行 春山 鉄源 吉井 昌彦	奥西 孝至 豊谷 整克 難波 明生 藤岡 秀英 綿貴 友子	金京 拓司 玉岡 雅之 西山 慎一 藤田 誠一	胡 云芳 中西 訓嗣 萩原 泰治 松林 洋一
准教授 (7名)	小林 照義 宮崎 智視	末石 直也 勇上 和史	鈴木 純	中村 健太	水野 倫理

2. 第1回目募集枠 8名(募集教員の希望により、募集枠を超えて採用する場合がある)

3. 教員別オフィス・アワー

①:10月1日(月)～11月14日(水)、②:12月12日(水)～18日(火)

4. 募集スケジュール

受付は教務係で行います。発表は本館正面玄関で行います。

教員別ゼミ案内は、経済学部ホームページ(教務掲示板:H31年度研究指導募集ページ)に掲載します。

申請用紙等はすべて上記ページよりダウンロードしてください。

1回目:11月15日(木)9:00～12月3日(月)17:00

11月15日(木) 9:00～ 12月3日(月)17:00	1回目受付 ・教務係内のメールボックスに申請書・志望動機書をホッチキスで止めて提出
12月5日(水) 10:00	1回目応募者数発表 ・定員内に入っていればこの時点で仮登録決定 ※オフィスアワー参加証の提出を教員が要求しているにもかかわらず 教員に未提出の学生は、定員内であっても受け入れを拒否されることがある ・定員を超えた教員に応募した学生は選考(書類選考または面接) 面接の場合…集合時間と場所の発表 面接時間…12月6日(木)昼休み・3・4限、7日(金)昼休み、10日(月)昼休み・3・4限
12月11日(火) 15:00(予定)	1回目の選考結果発表

2回目:12月19日(水)9:00～12月20日(木)17:00

12月19日(水)9:00～ 12月20日(木)17:00	2回目受付
12月21日(金) 15:00	2回目応募者数発表 ・定員内に入っていればこの時点で仮登録決定 ※オフィスアワー参加証の提出を教員が要求しているにもかかわらず 教員に未提出の学生は、定員内であっても受け入れを拒否されることがある ・定員を超えた教員に応募した学生は書類選考
12月25日(火) 15:00(予定)	2回目選考結果発表

3回目:12月25日(火)15:00～12月27日(木)17:00、1月4日(金)9:00～13:00

12月25日(火)15:00～ 1月4日(金)13:00	3回目受付 ※12月28日(金)～1月3日(木)は受付停止
1月 4日(金) 15:00	3回目応募者数発表 ・定員内に入っている教員は受け入れを拒否することができる ※ゼミによっては3回目の募集を行わないことがある
1月 7日(月) 15:00(予定)	3回目選考結果発表

研究指導における「履修科目の登録の上限に関する内規」上の取り扱いについて

- ・研究指導は2年間で8単位です。半期ごとに2単位を修得していることとなります。
- ・H23以降入学者は、研究指導以外の1年間の履修上限は46単位となります。

研究指導応募・履修資格について

【2017 年度生】

1. 研究指導応募資格（学生便覧 P.112）

研究指導に応募するには以下の要件を満たしていなければならない。

初級経済学、経済学のフロンティア、中級マイクロ経済学Ⅰ、中級マイクロ経済学Ⅱ、中級マクロ経済学Ⅰ、中級マクロ経済学Ⅱ、経済史、統計学の科目の「G P」の合計が 30 ポイント以上

《参考》

科目「G P」計算について

修得科目の単位数×G P（秀 4.3、優 4、良 3、可 2、不可 0）＝科目「G P」

例えば、初級経済学、経済学のフロンティア、中級マイクロ経済学Ⅰ、中級マイクロ経済学Ⅱ、中級マクロ経済学Ⅰ、中級マクロ経済学Ⅱ、経済史、統計学をすべて「可」で修得した場合、科目「G P」の合計は 30 ポイントで、応募資格を満たす。

2. 研究指導履修資格（学生便覧 P.112～113）

研究指導を履修するには、研究指導の開始までに以下の履修要件を満たしていなければならない。

- 1) 初年次セミナー及び基礎演習の修得
- 2) 基礎教養科目、総合教養科目、外国語科目(英語、その他の外国語)、情報科目、健康・スポーツ科学、共通専門基礎科目から 24 単位以上
- 3) 初級経済学、経済学のフロンティア、中級マイクロ経済学Ⅰ、中級マイクロ経済学Ⅱ、中級マクロ経済学Ⅰ、中級マクロ経済学Ⅱ、経済史、統計学、経済数学Ⅰ、経済数学Ⅱ、経済倫理と思想Ⅰ、経済倫理と思想Ⅱから 14 単位以上

3. 研究指導に所属しない場合

研究指導無所属、又は研究指導Ⅰの途中で研究指導に所属しなくなった学生は、専門科目からさらに 16 単位を履修しなければならない。

研究指導Ⅱ履修中の除籍により、研究指導Ⅰのみ修得した学生は専門科目からさらに 12 単位を修得しなければならない。

4. 所属学生の除籍について(学生便覧 P.114)

【2016 年度生】

1. 研究指導応募資格（学生便覧 P.112）

研究指導に応募するには以下の要件を満たしていなければならない。

初級経済学、経済学のフロンティア、中級マイクロ経済学Ⅰ、中級マイクロ経済学Ⅱ、中級マクロ経済学Ⅰ、中級マクロ経済学Ⅱ、経済史、統計学の科目の「G P」の合計が 30 ポイント以上

2. 研究指導履修資格（学生便覧 P.113）

研究指導を履修するには、研究指導の開始までに以下の履修要件を満たしていなければならない。

- 1) 初年次セミナー及び基礎演習の修得
- 2) 基礎教養科目、総合教養科目、外国語科目(英語、その他の外国語)、情報基礎、健康スポーツ科学、共通専門基礎科目（人文・社会系および数学系）から 32 単位以上
- 3) 初級経済学、経済学のフロンティア、中級マイクロ経済学Ⅰ、中級マイクロ経済学Ⅱ、中級マクロ経済学Ⅰ、中級マクロ経済学Ⅱ、経済史、統計学から 12 単位以上

3. 研究指導に所属しない場合

研究指導無所属、又は研究指導Ⅰの途中で研究指導に所属しなくなった学生は、専門科目からさらに 16 単位を履修しなければならない。

研究指導Ⅱ履修中の除籍により、研究指導Ⅰのみ修得した学生は専門科目からさらに 12 単位を修得しなければならない。

4. 所属学生の除籍について(学生便覧 P.114)

【2015 年度以前生】

1. 研究指導応募資格

研究指導応募資格は、研究指導未登録者とする。

2. 研究指導履修資格

研究指導に仮登録した者で、2 年生後期までに次の履修要件を満たした者は研究指導を履修することができる。

- 1) 基礎演習 2 単位
- 2) 共通専門基礎科目（人文・社会系）、英語その他の外国語から 16 単位以上
- 3) 共通専門基礎科目（数学系）、経済学、経済史、統計学、経済原論Ⅰ、経済原論Ⅱから 10 単位以上

ただし、経済原論Ⅰ又は経済原論Ⅱを修得しておくこと。

3. 研究指導に所属しない場合

研究指導応募時、又は途中で研究指導に所属しなくなった学生は、専門科目からさらに 16 単位を履修しなければならない。

4. 所属学生の除籍について（学生便覧 P.104）

4 コース制の導入について

平成 29 年度より、「研究指導」(ゼミ)の募集に関連して「コース制」を導入しています。学生は、研究指導のゼミに所属することで自動的に該当するコースを選択することになります。これらのコースは、各自の研究テーマに応じた、専門知識、研究方法、分析手法の習得につなげるため、経済学の広大な領域を 4 つの専門分野に分類・整理したものです。

ゼミでの研究活動と並行して授業科目の履修計画を立てる目安とするために、各コースのなかで「コース推奨科目」が提示されています。「コース推奨科目」は、各コースに対応する専門性を身に付けるために履修が強く推奨される授業科目を示したものです(ただし、特定のコースを選択したことが、そのコース以外の授業科目の履修を制約するものではありません)。選択したコースの「コース推奨科目」から **14 単位** を修得すると「コース修了」が認定されます。

大学での学修が効率的かつ有意義なものとなるように、各コースおよびコース推奨科目を参照しながら、適切な履修計画を立ててください。

	理論・計量コース	金融・国際コース	産業・社会・政策コース	歴史・思想・比較コース
研究指導	芦谷政浩 小林照義 (清水崇) 末石直也 中村保 難波明生 羽森茂之 春山鉄源 松林洋一 宮川栄一	(石黒馨) 岩壺健太郎 金京拓司 胡云芳 (地主敏樹) 中西訓嗣 西山慎一 (橋本賢一) 藤田誠一	玉岡雅之 (石川雅紀) (衣笠智子) 竹内憲司 豊谷整克 中村健太 萩原泰治 (橋野知子) 藤岡秀英 水野倫理 宮崎智視 (柳川隆) 勇上和史	奥西孝至 (梶谷懐) 重富公生 鈴木純 永合位行 吉井昌彦 綿貫友子
コース推奨科目	ゲーム理論 応用ゲーム理論 経済成長論 マクロ経済学の潮流 計量経済学 経済統計学 産業連関論 国際貿易論 国際マクロ ファイナンス 産業組織論	ファイナンス 国際金融論 国際貿易論 国際マクロ経済学 国際経済政策 日本経済論 アメリカ経済論 ヨーロッパ経済論 中国経済論 アジア経済論 ロシア・東欧経済論 計量経済学	現代技術論 環境経済学 産業連関論 経済政策原理 産業組織論 労働経済学 食料経済論 人口政策 社会政策 財政学 計量経済学 近・現代日本経済史	経済学史 中・近世日本経済史 近・現代日本経済史 中・近世西洋経済史 近・現代西洋経済史 経済体制論 経済政策原理 社会政策 日本経済論 アメリカ経済論 ヨーロッパ経済論 中国経済論 アジア経済論 ロシア・東欧経済論

()は平成 31 年度研究指導の募集なし

研究指導Ⅱ履修要件 「理論・計量コース」

教員氏名	「研究指導Ⅱ」の履修要件（「研究指導Ⅰ」の修得はすべてに共通）
芦谷政浩	「中級ミクロ経済学Ⅰ」と「中級ミクロ経済学Ⅱ」の両方を修得していること。
小林照義	次の(A)と(B)のうち「いずれか1つ」を満たしていること： (A)「上級マクロ経済学ⅠA」「上級マクロ経済学ⅠB」「上級ミクロ経済学ⅠA」「上級ミクロ経済学ⅠB」「上級経済数学」「上級計量経済学」「上級統計推理論」のいずれかで単位を修得していること。 (B)「計量経済学」「計量分析演習」「経済数学」「経済統計学」のいずれかで「良」以上の成績を修得していること。
末石直也	「統計学」と「計量経済学」の両方を修得していること。
中村保	次の(A)～(C)のうち「いずれか1つ」を満たしていること： (A)「マクロ経済学の潮流」あるいは「経済成長論」について「優」以上の成績を修得していること。 (B)「マクロ経済学の潮流」「経済成長論」「Intermediate Microeconomics」「Intermediate Macroeconomics」「経済体制論」「ゲーム理論」「応用ゲーム理論」「計量経済学」「経済統計学」の9つの授業科目のうち、少なくとも2科目について「良」以上の成績を修得していること。 (C)「研究指導Ⅰ」の後期に参加する三商大ゼミのグループ・リーダーとして、報告スライドを中心になって作成すること。(例年、10人から12人のゼミ生の中から3人がグループ・リーダーになっている。)
難波明生	「統計学」の単位を修得していること。ただし、編入生に関しては受講機会が限られているため、この条件は適用しない。
羽森茂之	「統計学」の単位を修得していること。ただし、編入生に関しては受講機会が限られているため、この条件は適用しない。
春山鉄源	次の(A)～(D)の「4つの条件すべて」を満たしていること： (A) 全学共通授業科目の必要修得単位をすべて修得していること。 (B) 専門科目Ⅰ群の単位をすべて修得していること。 (C) 必要修得単位として合計105単位以上を修得していること。 (D) 「研究指導Ⅰ」で「良」以上を修得していること。 ただし、留学や病気による長期欠席など正当な理由がある場合は上記の条件を緩和する場合がある。
松林洋一	「統計学」の単位を修得していること（編入学生はこの限りではない）。
宮川栄一	次の(A)～(D)のうち「少なくとも1つ」を満たしていること： (A)「ゲーム理論」「応用ゲーム理論」「経済数学Ⅰ・Ⅱ」のうち2単位以上で合格していること。 (B) 前期末と後期末に行う「研究指導Ⅰ」の小テストで少なくとも1回は合格していること。 (C)「研究指導Ⅰ」において「良」以上の成績を修得していること。 (D) 編入学生で、本学の「中級ミクロ経済学Ⅰ」または「中級ミクロ経済学Ⅱ」で「良」以上の成績を修得していること。

研究指導Ⅱ履修要件 「金融・国際コース」

教員氏名	「研究指導Ⅱ」の履修要件（「研究指導Ⅰ」の修得はすべてに共通）
岩壺健太郎	「研究指導Ⅰ」を修得していること。
金京拓司	「研究指導Ⅰ」を修得していること。
胡云芳	次の(A)と(B)の両方を満たしていること： (A)「中級ミクロ経済学Ⅰ」「中級ミクロ経済学Ⅱ」「中級マクロ経済学Ⅰ」「中級マクロ経済学Ⅱ」の4科目を修得していること。 (B)「国際貿易論」「国際マクロ経済学」「国際投資論」「国際経済政策」「上級国際貿易論」「上級国際マクロ経済学」「経済数学」のうち、少なくとも2科目について「良」以上の成績を修得していること。（「経済数学」の代わりに「経済数学Ⅰ」+「経済数学Ⅱ」でもよい。）
中西訓嗣	「中級ミクロ経済学Ⅰ」と「中級ミクロ経済学Ⅱ」の両方を修得していることに加えて、次の(A)～(C)のうち「いずれか1つ」を満たしていること： (A)「国際経済学」について「優」以上の成績を修得していること。 (B)「国際経済学」「国際貿易論」「国際マクロ経済学」「国際投資論」「国際経済政策」「上級国際貿易論」「上級国際マクロ経済学」「ゲーム理論」「応用ゲーム理論」のうち、少なくとも2科目を修得していること（成績は問わない）。 (C)「研究指導Ⅰ」において2回実施する「国際貿易論およびゲーム理論に関する試験」のいずれかに合格していること。
西山慎一	「研究指導Ⅰ」を修得していること。
藤田誠一	「研究指導Ⅰ」において「優」以上の成績を修得していること。

研究指導Ⅱ履修要件 「産業・社会・政策コース」

教員氏名	「研究指導Ⅱ」の履修要件（「研究指導Ⅰ」の修得はすべてに共通）
玉岡雅之	「研究指導Ⅰ」を修得していること。
竹内憲司	「研究指導Ⅰ」で課す4回のテストを受け、合格すること。
豊谷整克	産業・社会・政策コース推奨科目および「経済政策基礎論」「金融論」「公共経済学」「ゲーム理論」「応用ゲーム理論」から4科目以上を修得し、かつ、これらの科目のうち成績上位4科目の「科目GP」の合計が24.0以上であること。
中村健太	「研究指導Ⅰ」を修得していること。
萩原泰治	「研究指導Ⅰ」を修得していること。
藤岡秀英	研究指導Ⅰのなかで12月25日までに研究レポート（1万2千字程度）を提出し、2月の研究発表会でプレゼンテーションを行ってもらおう。 レポートと研究発表の内容により、成績評価を行う。成績評価が60点以上であることが、研究指導Ⅱに進む条件。
水野倫理	「研究指導Ⅰ」を修得していること。
宮崎智視	「研究指導Ⅰ」の単位を修得すること。その上で、以下の条件のうち一つを満たすこと。 1. 「研究指導Ⅰ」修了時点でGPAが「3.0」以上 2. 「初級経済学」，「中級ミクロ経済学Ⅰ」，「中級ミクロ経済学Ⅱ」，「中級マクロ経済学Ⅰ」，「中級マクロ経済学Ⅱ」，「計量経済学」，「応用計量経済学」，「公共経済学」，「財政学」のうち、少なくとも2科目について「良」以上の成績を修めていること。 * 留学希望者および編入生については、上記の1，2は応相談とする。
勇上和史	産業・社会・政策コースの推奨科目および経済政策基礎論のうち、少なくとも2科目について「良」以上の成績を修得していること。

研究指導Ⅱ履修要件 「歴史・思想・比較コース」

教員氏名	「研究指導Ⅱ」の履修要件（「研究指導Ⅰ」の修得はすべてに共通）
奥西孝至	「研究指導Ⅰ」を修得していること。
重富公生	「研究指導Ⅰ」を修得していること。
鈴木純	<p>「研究指導Ⅰ」を修得していること。 ただし、3年次において、時間割上可能な場合には、以下の科目の履修を求める。 「経済体制論」「経済政策原理」「社会政策」「産業組織論」「労働経済学」 履修できない(あるいは履修制限の抽選に外れたことにより履修できなかった)場合には、その旨を報告すること。</p>
永合位行	<p>「研究指導Ⅱ」を履修するための必須要件ではないが、「経済体制論」「経済政策原理」「社会政策」の3つの科目を修得していることが望ましい。</p>
吉井昌彦	<p>・次の(A)(B)の「2つの条件」を満たしていること (A)「研究指導Ⅰ」を履修し、毎回出席し(無断欠席をせず)、積極的にゼミ活動に参加していること。 (B)「研究指導Ⅰ」で行われる京阪神三大学対抗ゼミおよび海外大学との対抗ゼミに積極的に参加していること。</p>
綿貫友子	<p>「研究指導Ⅰ」を修得していること。 中・近世日本経済史を修得していること。(但し、編入生もしくは考慮すべき事情がある学生に関しては面談により判断する。)</p>

(見本)

平成31年度 研究指導 申請書

(*「研究指導 志望動機書」と併せて提出してください。)

顔写真貼付 縦4cm x 横3cm *必ず写真を貼ること	学籍番号			
	ふりがな			
	氏名・年齢		満 歳	(2018年10月1日現在)
	出身高校			
連絡方法 明瞭に記入すること	携帯電話			
	携帯メール			
	PCメール			
所属プログラム (リストから選択)		海外留学 への興味		
将来の希望 (リストから選択)		「その他」の場合は具体的に記入して下さい		
自己アピール (自由に記述してください。)				

* 上記の個人情報は、ゼミ募集・ゼミ運営・卒業後の連絡等に利用させていただき、法令及び「神戸大学の保有する個人情報の管理に関する方針」に基づき適正かつ安全に管理いたします。

(見本)

第 回目応募

平成31年度 研究指導 志望動機書

(「研究指導 申請書」と併せて提出)

申請コード (リストから選択)		志望する教員名 (リストから選択)	
<p>・志望動機 (上記教員の研究指導を志望する理由を具体的に書いてください。)</p> <p>・過年度生(応募時点で3年生以上の学生)は、志望動機に加えて、応募が遅れた理由・事情(留学・休学・応募要件を満たさなかった等)をできるだけ詳しく記述して下さい。理由によっては、定員に満たない場合でも受け入れを拒否されることがあります。</p>			

(見本)

平成31年度研究指導募集 オフィスアワー参加証

オフィスアワー参加証の提出を義務付けている教員を志望する場合、
下記へ記入の上、オフィスアワー参加時に教員へ提出すること。

学籍番号	【		】
氏名	【		】
志望教員名	【		】
参加日	月	日	()
記述欄			

申請コード : 1	教員名 : ^{あしや まさひろ} 芦谷 政浩 教授 (理論・計量コース)
研究室 : 第3学舎 426	メールアドレス : ashiya@econ.kobe-u.ac.jp
学生に対する希望・条件 : 中級ミクロ経済学 (もしくは経済原論Ⅰ) と中級マクロ経済学 (もしくは経済原論Ⅱ) を、好成績で履修済みであることが望ましい。	
研究指導の内容 : ・3回生 : 「年次経済財政報告」を輪読する。 ・4回生 : 各自が選んだテーマに基づき、卒業論文を作成する。	
オフィスアワー① (10/2~11/16、日時、場所、参加条件等) 10月 5日(金) 12:30~13:00 研究室 10月 9日(火) 12:30~13:00 研究室 10月 10日(水) 12:30~13:00 研究室	
1回目募集時の参加証提出 : 不要	1回目で定員を超えた場合の選考方法 : 書類選考
オフィスアワー② (12/13~12/19、日時、場所、参加条件等) 12月 17日(月) 12:30~13:00 研究室	
法経連携研究指導受け入れ : 不可	授業休止期間 : 無

申請コード : 2	教員名 : ^{なかむら たもつ} 中村 保 教授 (理論・計量コース)
研究室 : 兼松記念館 230	メールアドレス : nakamura@econ.kobe-u.ac.jp
学生に対する希望・条件 : ・ゼミに入ったら目的を持ってしっかり勉強しようと考えている人。 ・三商ゼミなど教室以外での活動の企画や運営に積極的に取り組んでみたい人。 ・現実の経済社会の問題に関心があり、それを(マクロ)経済学を使って考えてみたいと思っている人。	
研究指導の内容 : ・3回生 : (1)前期は現在の経済が直面する課題についてグループ単位で研究し発表する。 (2)後期は三商ゼミでの発表に向けての勉強を中心に行う。 ・4回生 : 各自の卒業論文の報告とそれに関する討論を中心にして進める。	
オフィスアワー① (10/2~11/16、日時、場所、参加条件等) ・10月 31日(水) 12:15~13:00 ・11月 2日(金) 12:15~13:00 ・11月 7日(水) 12:15~13:00 ・11月 9日(金) 12:15~13:00 すべて研究室 *事前にメールで連絡をすること。	
1回目募集時の参加証提出 : 要	1回目で定員を超えた場合の選考方法 : 書類選考
オフィスアワー② (12/13~12/19、日時、場所、参加条件等) ・12月 13日(木) 12:15~13:00 ・12月 14日(金) 12:15~13:00 すべて研究室 *事前にメールで連絡をすること。	
法経連携研究指導受け入れ : 不可	授業休止期間 : 無

申請コード : 3	教員名 : ^{なんば あきお} 難波 明生 教授 (理論・計量コース)
研究室 : 第3学舎 523	メールアドレス : namba@econ.kobe-u.ac.jp
学生に対する希望・条件 : コンピュータを用いてデータ分析をすることに興味のある学生を希望します。 「統計学」「計量経済学」の講義の内容をある程度理解していることを条件とします。	
研究指導の内容 : データ分析を行うために、計量経済学の基礎理論を学習するとともに、実際にコンピュータを用いてどのような作業を行うのか、各自に実習をしてもらいます。	
オフィスアワー① (10/2~11/16、日時、場所、参加条件等) 10月15日(月)、11月2日(金)、11月14日(水)、全て12:30~13:10、研究室	
1回目募集時の参加証提出 : 不要	1回目で定員を超えた場合の選考方法 : 書類選考
オフィスアワー② (12/13~12/19、日時、場所、参加条件等) 12月17日(月)、12:30~13:10、研究室	
法経連携研究指導受け入れ : 不可	授業休止期間 : 無

申請コード : 4	教員名 : ^{は もり しげゆき} 羽森 茂之 教授 (理論・計量コース)
研究室 : 第3学舎 404	メールアドレス : hamori@econ.kobe-u.ac.jp
学生に対する希望・条件 : ゼミでは、数多くの行事(円ダービー、バーチャルFXコンテスト、日経ストックリーグ、工場見学等)を行いますので、それらの活動に積極的に参加してくれる学生を希望します。ゼミの先輩たちは、実業会(メーカー、商社、金融機関等)、公認会計士、国家・地方公務員、大学院進学等、様々な分野で活躍してくれています。皆さんもぜひ頑張ってください！	
研究指導の内容 : <ul style="list-style-type: none"> ゼミでは、人前で自分の意見を自分の言葉で表現できる「プレゼンテーション能力」と自分でデータの分析をできる「分析能力」を身につけてもらうことを基本的な目的としています。 「プレゼンテーション能力」を習得するために、ゼミの最初に、ディベートを行っています。 「分析能力」を習得するために、3年生の前半は「円ダービー」及び「バーチャルFXコンテスト」、後半は「日経ストックリーグ」に参加します。先輩たちはこれらの大会で活躍してくれていますので、新ゼミ生の皆さんにも期待しています。 3年生は、4名から5名のグループに分かれたグループ研究、4年生は卒業論文作成に向けた個人研究が中心となる活動となります。 海外の大学へ留学する学生が多いことも特徴の一つです。 ゼミ活動の具体的な内容は、私のホームページも参考にしてください。 (http://www2.kobe-u.ac.jp/~hamori/Jhamori/seminar(undergrad).html) 	
オフィスアワー① (10/2~11/16、日時、場所、参加条件等) ・10月15日(月) 12:45~13:30 ゼミ教室 ・10月29日(月) 12:45~13:30 ゼミ教室 上記日程に参加できない学生は、メールでの問い合わせに対応します。	
1回目募集時の参加証提出 : 要	1回目で定員を超えた場合の選考方法 : 書類選考
オフィスアワー② (12/13~12/19、日時、場所、参加条件等) ・12月17日(月) 12:30~13:10 研究室	
法経連携研究指導受け入れ : 不可	授業休止期間 : 無

申請コード : 5	教員名 : <small>はるやま</small> 春山 <small>てつげん</small> 鉄源 教授 (理論・計量コース)
研究室 : 兼松記念館 326	メールアドレス : haruyama@econ.kobe-u.ac.jp
学生に対する希望・条件 : 【条件1】平成30年度のシラバス (研究指導) の「履修上の注意」を注意深く読むこと 【条件2】中級マクロ経済学Ⅰ・Ⅱ、中級ミクロ経済学Ⅰ・Ⅱ、統計学の全ての単位を修得済 【希望】計量経済学の単位を修得済	
研究指導の内容 : 【キーワード】英語、プログラミング (実証分析・シミュレーション) 【3年生】Pythonの基本を勉強し、Pythonを使い統計学・計量経済学の復習を行う。経済モデルのシミュレーションも試みる。また英語スピーキング力向上のために The Instant Economist (邦訳「スタンフォード大学で一番人気の経済学入門」) の内容に関して英語でプレゼンをする (各自約5分間、半期毎に原稿を書き換える)。 【4年生】主に卒業論文の準備と作成。時間が許す限り上記の英語での報告も続ける。 【注意】各自 Windows/Mac のノートブック型コンピュータは必須	
オフィスアワー① (10/2~11/16、日時、場所、参加条件等) ・10月15日 (月)・10月29日 (月)・11月12日 (月) いずれも 12:20~13:20 (場所: 研究室) 上記日程に参加できない学生は、事前にメール (学籍番号と氏名を明記) でアポを取る。	
1回目募集時の参加証提出 : 要	1回目で定員を超えた場合の選考方法 : 面接
オフィスアワー② (12/13~12/19、日時、場所、参加条件等) 12月17日 (月) 12:20~13:20 (場所: 研究室) 上記日程に参加できない学生は、事前にメール (学籍番号と氏名を明記) でアポを取る。	
法経連携研究指導受け入れ : 不可	授業休止期間 : 無

申請コード : 6	教員名 : <small>まつばやし</small> 松林 <small>よういち</small> 洋一 教授 (理論・計量コース)
研究室 : 第3学舎 403	メールアドレス : myoichi@econ.kobe-u.ac.jp
学生に対する希望・条件 : ・計量分析を用いて、日本経済・世界経済に関する様々なトピックスを考察することに興味のある方 ・円ドルダube、日銀グランプリ、ISFJなどの論文大会に興味がある方 ・将来、金融機関・政策当局・民間シンクタンクなどで情勢判断や調査分析を行いたいと考えておられる方 ・海外への留学を考えておられる方 ・勉強だけでなく、さまざまなレクリエーションを通じて和気あいあいと楽しめる方	
研究指導の内容 : ・1) ゼミのはじめの15分で、1週間のマーケットウォッチ (為替・株・金利など) を行います。 ・2) 計量経済学・マクロ経済学の基礎的知識の復習をします。 ・3) 計量ソフトを用いて、実証分析の様々な手法を、毎時間一つずつ学んでいきます。 ・4) 前期の終わりから、日銀グランプリ・ISFJ (日本政策学生会議) の準備をしていきます。 ・5) 神戸税関 (5月)、東京外為ブローカー・日本銀行本店 (12月) に見学とヒアリングに行きます。	
オフィスアワー① (10/2~11/16、日時、場所、参加条件等) 11月12日 (月) 15:10~16:20 情報処理演習室 (206室) (3回生ゼミ生によるゼミの詳細な紹介・ミニ講義を企画しています) 上記日程に参加できない学生は、メールでの問い合わせに対応します。	
1回目募集時の参加証提出 : 要	1回目で定員を超えた場合の選考方法 : 書類選考
オフィスアワー② (12/13~12/19、日時、場所、参加条件等)	
法経連携研究指導受け入れ : 不可	授業休止期間 : 無

申請コード : 7	教員名 : <small>みやがわ えいいち</small> 宮川 栄一 教授 (理論・計量コース)
研究室 : 第3学舎 528	メールアドレス : miyagawa@econ.kobe-u.ac.jp
学生に対する希望・条件 :	
<ul style="list-style-type: none"> ・ゲーム理論と行動経済学を使って何か面白い研究をしてみたいという人を募集します。 ・中級ミクロ経済学に出てくる数式にアレルギーがなく、アイデアや論理を考えることが嫌いでなく、人の行動を数式で考えることが出来たら面白いかなと思える人が対象です。使う数学のレベルは中級ミクロ経済学程度で大丈夫です。 ・ゼミ活動に努力する気持ちがあって、他人と話し合ったり協力したりするのが嫌でない人を希望します。 ・「ゲーム理論」や「応用ゲーム理論」を履修している必要はありませんが、ゼミに入ったら履修していただけます。 ・海外留学する人や早期卒業する人にも喜んで対応します。 	
研究指導の内容 :	
<ul style="list-style-type: none"> ・3年生の前期は、ゲーム理論と行動経済学の手法を教科書や授業で学んだ上で、モデルを作る技術を演習を通じて修得します。 ・3年生の後期は、三商大に向けてグループ研究を行います。三商大後も外部で発表することを考えます。英語に興味がある人がいけば英語での発表も考えます。 ・過去の3年生が三商大用に選んだテーマの例を挙げると、「流行のモデル」「エナジードリンクの理論」「マイナス票も投じることが出来る投票制度」「マルチ商法」「ベニーオークションの分析」「マクドナルドのメニュー戦略」「家電量販店等のポイント制度」などです。 ・過去の4年生が卒論に選んだテーマの例を挙げると、「コンビニの出店戦略であるドミナント戦略の優位性に関する分析」「古株のプライド」「謝罪に関するゲーム理論的分析—人々はなぜ謝罪するのか—」「商品の耐久性が企業の価格戦略に及ぼす影響」「民事訴訟における判決の選択肢の最適な連続性 —「100対0の解決」と「柔軟な解決」のどちらが望ましいか—」「企業の最適人選行動—労働者の性質に注目したチームのゲーム分析—」「ポスティング入札を用いた移籍制度の考察—ファーストプライスオークションモデルでの理論分析—」「路上喫煙禁止条例の経済学的効果—ゲームモデルによる理論分析と最適戦略の実証的な導出—」などです。いくつかは全文PDFが学部サイトに掲載されていますので、参考にご覧ください。 	
オフィスアワー① (10/2~11/16、日時、場所、参加条件等)	
11月2日(金) 12:30~13:10 (研究室) 11月8日(木) 12:30~13:10 (研究室) 11月13日(火) 12:30~13:10 (研究室)	
1回目募集時の参加証提出 : 不要	1回目で定員を超えた場合の選考方法 : 面接
オフィスアワー② (12/13~12/19、日時、場所、参加条件等)	
12月13日(木) 12:30~13:10 (研究室) 12月18日(火) 12:30~13:10 (研究室)	
法経連携研究指導受け入れ : 不可	授業休止期間 : 無

申請コード : 8	教員名 : <small>こばやし てるよし</small> 小林 照義 准教授 (理論・計量コース)
研究室 : 第2学舎 403	メールアドレス : kobayashi@econ.kobe-u.ac.jp
学生に対する希望・条件 :	
<ul style="list-style-type: none"> ・社会・経済の様々な現象に関心がある人 ・もっと勉強したい、研究してみたいという意欲のある人 ・データ分析に興味がある人 ・ノートPCを毎回持参すること 	
研究指導の内容 :	
<ul style="list-style-type: none"> ・3年次：共通の課題（過去はネットワーク科学・金融政策論など）を決めてテキストを輪読し、パワポでプレゼンします。 ・3年次後半から自分の卒論テーマを考えつつ調査をしていき、4年次には必要に応じて専門家にインタビューします。テーマは各自自由に設定するので、問題点を自分で見つけ、課題を考えていく必要があります。 ・進捗具合に応じて、随時プレゼンとディスカッションを行っていきます。 	
オフィスアワー① (10/2~11/16、日時、場所、参加条件等)	
10月 3日(水) 12:30 - 13:30 10月 12日(金) 12:30 - 13:30 全て研究室	
1回目募集時の参加証提出 : 不要	1回目で定員を超えた場合の選考方法 : 書類選考
オフィスアワー② (12/13~12/19、日時、場所、参加条件等)	
12月14日(金) 12:30 - 13:30 研究室	
法経連携研究指導受け入れ : 不可	授業休止期間 : 無

申請コード : 9	教員名 : ^{すえいし} 末石 ^{なおや} 直也 准教授 (理論・計量コース)
研究室 : 第3学舎 420	メールアドレス : sueishi@econ.kobe-u.ac.jp
学生に対する希望・条件 : ・統計学と計量経済学を履修済みであること。 ・データ分析に関心があること。 ・経済数学を履修済みであることが望ましい。	
研究指導の内容 : 3年次前期では、機械学習の基礎的な理論を学んでもらう予定です。3年次後期では、RもしくはPythonを用いて、データの分析を行ってまいります。4年次は卒業論文執筆のための指導を行います。卒業論文では、何らかの形で計量経済学や機械学習の手法を用いることを求めます。やみくもにデータをいじるのではなく、計量経済学や機械学習の理論をきちんと理解したうえで、データ分析が行えるようになることを目指します。	
オフィスアワー① (10/2~11/16、日時、場所、参加条件等) 10月25日(木) 16:30~17:30 研究室 11月2日(金) 16:30~17:30 研究室 11月14日(水) 16:30~17:30 研究室 上記時間帯以外で面談を希望する場合は、メールでアポをとること。	
1回目募集時の参加証提出 : 要	1回目で定員を超えた場合の選考方法 : 面接
オフィスアワー② (12/13~12/19、日時、場所、参加条件等) 12月13日(木) 16:30~17:30 研究室 上記時間帯以外で面談を希望する場合は、メールでアポをとること。	
法経連携研究指導受け入れ : 可	授業休止期間 : 無

申請コード : 10	教員名 : ^{いわつぼ} 岩壺 ^{けんたろう} 健太郎 教授 (金融・国際コース)
研究室 : 第2学舎 401	メールアドレス : iwatsubo@econ.kobe-u.ac.jp
学生に対する希望・条件 : ファイナンス・金融のゼミです。日本および世界の金融問題に興味のあることが条件です。(1)大学の成績に見られる地道な努力が出来るか、あるいは(2)並はずれた根性・GRIT(やりぬく力)を持っている人を歓迎します。	
研究指導の内容 : 前期はBloomberg コンテスト/日銀グランプリ、後期は日経ストックリーグに参加します。前期は証券投資論、後期は企業金融論を中心とした様々なテーマで「調べる、考える、発表する」ことを行います。これによりパワーポイントを使ったプレゼン力、ディスカッション力、データ分析力などの能力を身に着けます。就活前にフリーアナウンサーによる面接講座を受講します。歴代OBOG(1~7期)が作成した企業別就活体験談集があります。卒業生は銀行、商社、コンサル、メーカー、電力、通信、航空、鉄道、官庁(国I)など多様な職に就いています。	
オフィスアワー① (10/2~11/16、日時、場所、参加条件等) ・10月31日(水) 12:10~13:10 研究室、参加条件なし ・11月7日(水) 12:10~13:10 研究室、参加条件なし ・11月12日(月) 12:10~13:10 研究室、参加条件なし	
1回目募集時の参加証提出 : 不要	1回目で定員を超えた場合の選考方法 : 面接
オフィスアワー② (12/13~12/19、日時、場所、参加条件等) 12月17日(月) 12:15~13:10 研究室 参加条件なし	
法経連携研究指導受け入れ : 不可	授業休止期間 : 無

申請コード : 11	教員名 : 金京 ^{きんきょう} 拓司 ^{たくじ} 教授 (金融・国際コース)
研究室 : 兼松記念館 325	メールアドレス : kinkyo@econ.kobe-u.ac.jp
学生に対する希望・条件 : <ul style="list-style-type: none"> 金融について学ぶゼミです (「志望動機書」になぜ金融を学びたいかを記述してください)。 R (統計解析ソフト) を使った実証分析について学びます (ゼミへのパソコン必携)。 毎回の出席はもとより、ゼミ活動全般に積極的に参加することが条件です。 	
研究指導の内容 : <ul style="list-style-type: none"> 3 回生は、テキストを用いて金融の基本知識と R の使い方を習得し、各自課題レポートを作成します。 毎回、担当者がテキストの内容を要約したレジュメを作成し、報告を行います。 3 回生の夏休みに金融機関などを訪問し、金融業務に関する理解を深めます。 4 回生は、各自が選択したテーマに沿って卒業論文を作成します。 	
オフィスアワー① (10/2~11/16、日時、場所、参加条件等) <ul style="list-style-type: none"> 10 月 19 日 (金) 12:10~13:10 研究室 参加条件なし 10 月 25 日 (木) 12:10~13:10 研究室 参加条件なし 11 月 12 日 (月) 13:20~14:50 演習を行なっている教室 参加条件なし 	
1 回目募集時の参加証提出 : 不要	1 回目で定員を超えた場合の選考方法 : 書類選考
オフィスアワー② (12/13~12/19、日時、場所、参加条件等) <ul style="list-style-type: none"> 12 月 14 日 (金) 12:10~13:10 研究室 参加条件なし 	
法経連携研究指導受け入れ : 不可	授業休止期間 : 無

申請コード : 12	教員名 : 胡 ^こ 云 ^{うん} 芳 ^{ほう} 教授 (金融・国際コース)
研究室 : 第 3 学舎 405	メールアドレス : yhu@econ.kobe-u.ac.jp
学生に対する希望・条件 : <p>1) 国際貿易や経済成長に関する諸問題に関心を持つ、2) 理論また計量分析をもちいて 1) での問題を分析するための学習に興味がある、および 3) ゼミ参加が保証できしっかりと勉強したい、という人を希望します。</p>	
研究指導の内容 : <p>3 年次は経済成長と国際貿易に関する入門本の輪読・報告を中心に行い、理論/数量分析の基本道具を学びます。4 年次は、卒業論文の準備・作成を中心に行います。各自が興味のあるテーマを決め、ゼミで報告議論を行います。</p>	
オフィスアワー① (10/2~11/16、日時、場所、参加条件等) <p>10 月 29 日 (月) 12:00~13:10 研究室 10 月 31 日 (水) 12:00~13:10 〃 11 月 1 日 (木) 12:00~13:10 〃</p>	
1 回目募集時の参加証提出 : 不要	1 回目で定員を超えた場合の選考方法 : 書類審査
オフィスアワー② (12/13~12/19、日時、場所、参加条件等) <p>12 月 13 日 (木) 12:00~13:10 研究室 12 月 17 日 (月) 12:00~13:10 〃</p> <p>学籍番号と氏名を明記して、事前にメールで連絡をすること。</p>	
法経連携研究指導受け入れ : 可	授業休止期間 : 無

申請コード : 13	教員名 : ^{なかにし} 中西 ^{のりつぐ} 訓嗣 教授 (金融・国際コース)
研究室 : 第4学舎 502	メールアドレス : nakanishi@econ.kobe-u.ac.jp
学生に対する希望・条件 : 次のような人の参加を希望します : (1) 貿易と日本の農林水産業・労働, 企業活動の国際展開, FTA/EPA/TPP など, グローバリゼーションに関わる諸問題に関心のある人, (2) 一般均衡理論やゲームの理論といった経済学の理論的枠組みを探究してみたい人, (3) 自ら設定した課題に積極的に取り組む意欲のある人。	
研究指導の内容 : ・ 3年次 : テキスト講読を通じて, 国際貿易理論とゲーム理論とを徹底的に学びます。また, 神大・一橋・大阪市大による三商大ゼミ, および神大・京大・阪大・慶應による四大学研究報告会に向けて, 共同論文の執筆に取り組むとともに, 研究発表・プレゼンテーションの方法について学びます。 ・ 4年次 : 各自が選択したテーマに沿って, 卒業論文を執筆します。 ※ゼミ運営方針の詳細については以下の私の研究室のWEBサイトを参照してください。 http://www2.kobe-u.ac.jp/~nakanishi/seminar-u.html	
オフィスアワー① (10/2~11/16、日時、場所、参加条件等) ・ 日程 : 10月15日 (月), 10月18日 (木), 11月5日 (月), 11月8日 (木) ・ 時間 : 12:15~12:40, 12:45~13:10 ・ 場所 : 研究室	
1回目募集時の参加証提出 : 要 (2回目以降も要)	1回目で定員を超えた場合の選考方法 : 書類選考
オフィスアワー② (12/13~12/19、日時、場所、参加条件等) 12月17日 (月) 12:15~12:40, 12:45~13:10 研究室	
法経連携研究指導受け入れ : 可	授業休止期間 : 無

申請コード : 14	教員名 : ^{にしやま} 西山 ^{しんいち} 慎一 教授 (金融・国際コース)
研究室 : 第五学舎 601	メールアドレス : nishiyama@econ.kobe-u.ac.jp
学生に対する希望・条件 : <input type="radio"/> 中級マクロ経済学 I・II、中級ミクロ経済学 I・II、統計学、金融論の全ての単位を修得済 <input type="radio"/> メガバンク、地方銀行や証券会社といった金融業界に就職を考えている学生を歓迎する <input type="radio"/> 日本銀行、内閣府、財務省といった経済官庁への就職を考えている学生を歓迎する <input type="radio"/> 大学院へと進学し、エコノミストあるいは研究者となることを考えている学生を歓迎する	
研究指導の内容 : <input type="radio"/> 3年次はゼミにおいては専門書を読み込み、知識を習得するとともにプレゼンやレジュメ作成の技術を磨く。 <input type="radio"/> 4年次は卒業研究のプロジェクトに専念し、1年間を掛けて卒業論文を書き上げる。 <input type="radio"/> ゼミ3年生は、三商大ゼミ、同志社大学主催 WEST、日銀グランプリ等への参加を奨励する。夏季に必要なに応じて合宿を行う。	
オフィスアワー① (10/2~11/16、日時、場所、参加条件等) 10月16日 (火) 12:20~13:00 研究室 10月30日 (火) 12:20~13:00 研究室 11月13日 (火) 12:20~13:00 研究室 注意) 上記日程で参加できない者は、メールで連絡 (氏名・学籍番号明記) してアポを取ること	
1回目募集時の参加証提出 : 不要	1回目で定員を超えた場合の選考方法 : 成績による
オフィスアワー② (12/13~12/19、日時、場所、参加条件等) 12月18日 (火) 12:20~13:00 研究室 注意) 上記日程で参加できない者は、メールで連絡 (氏名・学籍番号明記) してアポを取ること	
法経連携研究指導受け入れ : 可	授業休止期間 : なし

申請コード : 15	教員名 : 藤田 誠一 教授 (金融・国際コース)
研究室 : 兼松 114	メールアドレス : fujita@econ.kobe-u.ac.jp
学生に対する希望・条件 : <ul style="list-style-type: none"> ・ 学問に限らず好奇心旺盛で、チャレンジ精神豊かな人。 ・ ゼミナールの活動 (研究、対抗ゼミ、コンパ、旅行など) に積極的に参加する人。 ・ 恥ずかしがらずに自分の意見を述べたり、議論をするのが好きな人。 ・ 国際金融問題に関心を持っている人。 	
研究指導の内容 : <ul style="list-style-type: none"> ・ 国際金融に関する基本的なテキストの輪読と特定のテーマに関する協同研究。 ・ その時々の特時問題についての英文雑誌・新聞記事も随時取り上げる予定。 ・ 一橋大学、九州大学・金沢大学、明治大学との対抗ゼミを予定している。 	
オフィスアワー① (10/2~11/16、日時、場所、参加条件等)	
10月17日 (水) 12:30~13:00 320 教室 10月26日 (金) 12:30~13:00 320 教室 10月29日 (月) 12:30~13:00 320 教室	
1回目募集時の参加証提出 : 不要	1回目で定員を超えた場合の選考方法 : 面接
オフィスアワー② (12/13~12/19、日時、場所、参加条件等)	
12月14日 (金) 12:30~13:00 320 教室	
法経連携研究指導受け入れ : 不可	授業休止期間 : 無

申請コード : 16	教員名 : 玉岡 雅之 教授 (産業・社会・政策コース)
研究室 :	メールアドレス : https://pf.econ.kobe-u.ac.jp/mpmail/form.html
学生に対する希望・条件 : <ul style="list-style-type: none"> ・ なんでも意欲的に取り組む人 ・ 当たり前のことを当たり前だと思わない人 ・ 3商大ゼミナールに意欲的に参加する人 ・ ゼミの行事に積極的に参加する人 ・ 財政問題に興味がある人 のどれか3つ以上に当てはまる方の応募を希望します。	
研究指導の内容 : <ul style="list-style-type: none"> ・ 3年生では基本的な財政学関連の本を講読します。途中から3商大ゼミナールの準備に入ります。 ・ 4年生では卒論作成を中心に指導を行います。 	
オフィスアワー① (10/2~11/16、日時、場所、参加条件等)	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 10月11日 (木) 12:30~13:00 (第1学舎 224号教室) ・ 10月18日 (木) 12:30~13:00 (第1学舎 224号教室) ・ 10月25日 (木) 12:30~13:00 (第1学舎 224号教室) 	
1回目募集時の参加証提出 : 不要	1回目で定員を超えた場合の選考方法 : 書類選考
オフィスアワー② (12/13~12/19、日時、場所、参加条件等)	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 12月13日 (木) 12:30~13:00 (第1学舎 224号教室) 	
法経連携研究指導受け入れ : 可	授業休止期間 : 無

申請コード : 17	教員名 : <small>たけうち けんじ</small> 竹内 憲司 教授 (産業・社会・政策コース)
研究室 : 兼松記念館 102	メールアドレス : takeuchi@econ.kobe-u.ac.jp
学生に対する希望・条件 : 環境経済学に関心のある人。	
研究指導の内容 : ・ 3年次は、英語文献の輪読や計量経済学の分析手法習得に取り組みます。年4回のテストを実施します。 ・ 4年次は、各自が卒業論文に取り組み、ゼミで報告し、内容について議論します。 ※留学生が参加する場合、ゼミは英語でおこなう可能性があります。	
オフィスアワー① (10/2~11/16、日時、場所、参加条件等) ・ 10月 2日 (火) 12:10~13:20 研究室 ・ 10月 24日 (水) 12:10~13:20 研究室 ・ 11月 16日 (金) 12:10~13:20 研究室	
1回目募集時の参加証提出 : 要	1回目で定員を超えた場合の選考方法 : 書類選考
オフィスアワー② (12/13~12/19、日時、場所、参加条件等) ・ 12月 13日 (水) 12:10~13:20 研究室	
法経連携研究指導受け入れ : 不可	授業休止期間 : 無

申請コード : 18	教員名 : <small>たたみたに よしかつ</small> 畳谷 整克 教授 (産業・社会・政策コース)
研究室 : 第4学舎 506	メールアドレス : tatamitani@econ.kobe-u.ac.jp
学生に対する希望・条件 : 公共経済学について、ミクロ経済学やゲーム理論を用いて、積極的に学んでみたいと考えている人を望みます。公共経済学では、市場メカニズムが上手く機能しない場合に、実行すべき政策について吟味したり、市場メカニズムに代わる資源配分の仕組みを考えたりします。時間が許せば「メカニズムデザイン」や「マーケットデザイン」とよばれる分野についても議論したいと思います。	
研究指導の内容 : 1年目は、ミクロ経済学やゲーム理論に関する基本概念を確認した後、公共経済学に関する教科書等を選び、その内容の報告とそれに基づいた議論を行います。例年、3年生のゼミは12:50~14:50で行っています。2年目は、各自が選択したテーマに基づき卒業研究を行います。	
オフィスアワー① (10/2~11/16、日時、場所、参加条件等) 10月 18日 (木) 12:15~13:15 研究室 10月 30日 (火) 16:45~17:45 研究室 11月 7日 (水) 12:15~13:15 研究室 上述の日時以外を希望の場合は、メールでアポをとってください。	
1回目募集時の参加証提出 : 要(2回目も)	1回目で定員を超えた場合の選考方法 : 書類選考
オフィスアワー② (12/13~12/19、日時、場所、参加条件等) 12月 13日 (木) 12:15~13:15 研究室 上述の日時以外を希望の場合は、メールでアポをとってください。	
法経連携研究指導受け入れ : 可	授業休止期間 : 無

申請コード : 19	教員名 : <small>はぎわら たいじ</small> 萩原 泰治 教授 (産業・社会・政策コース)	
研究室 : 兼松記念館 212 号室	メールアドレス : hagiwara@econ.kobe-u.ac.jp	
学生に対する希望・条件 : 技術革新や産業に関心のある人		
研究指導の内容 : ・ 3 回生 : 日本とヨーロッパの技術革新・産業に関する文献を輪読し、実証分析をします。 ・ 4 回生 : 卒業論文の作成		
オフィスアワー① (10/2~11/16、日時、場所、参加条件等) ・ 10 月 22 日 (月) 12:15~13:15 研究室 ・ 10 月 25 日 (木) 12:15~13:15 研究室 ・ 11 月 5 日 (月) 12:15~13:15 研究室		
1 回目募集時の参加証提出 : 不要	1 回目で定員を超えた場合の選考方法 : 書類選考	
オフィスアワー② (12/13~12/19、日時、場所、参加条件等) ・ 12 月 12 日 (水) 12:15~13:15 研究室 ・ 12 月 14 日 (金) 12:15~13:15 研究室		
法経連携研究指導受け入れ : 可	授業休止期間 : 無	

申請コード : 20	教員名 : <small>ふじおか よしひで</small> 藤岡 秀英 教授 (産業・社会・政策コース) 昨年度開講なし	
研究室 : 第 3 学舎 4 階 408 号室	メールアドレス : fujioka@econ.kobe-u.ac.jp	
学生に対する希望・条件 : 社会保険 (年金, 医療, 介護, 雇用, 労災), 社会福祉 (児童福祉, 障がい者福祉, 生活保護等), 地域創生政策のいずれかに関心を持ち, 文献研究ならび現地調査 (フィールドワーク) を自ら実施する意欲があること。とくに, 毎月, 土日祝を使つてのフィールドワークに参加するバイタリティがあること。また, 東アジア (フィリピン, ミャンマー, ベトナム, モンゴル, インド等) を対象とする海外調査に参加したい人を募ります。		
研究指導の内容 : 社会政策, 具体的には, 社会保障, 労働問題, 地域創生政策等にかんする「文献研究」と「フィールドワーク」の実践を指導します。12 月 25 日まで「3 回生論文」を作成し, 2 月 11 日前後に「研究発表会」を行います。3 回生論文と研究発表の内容によって成績評価を出します。		
オフィスアワー① (10/2~11/16、日時、場所、参加条件等) 10 月 18 日 (木) 12:30~13:20, 16:50~17:30 研究室 10 月 25 日 (木) 12:30~13:20, 16:50~17:30 研究室 10 月 29 日 (月) 16:00~17:30 研究室 上記日程に参加できない学生は, 事前にメール (学籍番号と氏名を明記) でアポを取ること。		
1 回目募集時の参加証提出 : 要	1 回目で定員を超えた場合の選考方法 : 面接	
オフィスアワー② (12/13~12/19、日時、場所、参加条件等) 12 月 13 日 (木) 12:30~13:20, 16:50~17:30 研究室 上記日程に参加できない学生は, 事前にメール (学籍番号と氏名を明記) でアポを取ること。		
法経連携研究指導受け入れ : 可	授業休止期間 : 無	

申請コード : 21	教員名 : <small>なかむら けんた</small> 中村 健太 准教授(産業・社会・政策コース)
研究室 : 第2研究室 307	メールアドレス : knakamura@econ.kobe-u.ac.jp
学生に対する希望・条件 : 企業の戦略や組織、産業の構造、イノベーションや知的財産権に関心がある学生を希望します。前提知識は必要ありませんが、二年間積極的にゼミ活動に参加することを求めます。	
研究指導の内容 : ・3年次 : 企業経済学や産業組織論、計量経済学に関する文献を読み、理論的基盤と研究方法について学びます。また、グループ研究を通じて実証分析の感覚を養っていきます。年明けには、企業や産業に関連する問題から卒業論文のテーマを選び論文執筆の準備を始めます。卒論は、原則として、実証的なもの(データを使ったもの)とします。 ・4年次 : 卒業論文に対する指導が中心になります。各自が関連論文を読み、データを収集し、計量分析を行うことで、オリジナルの成果を含む卒業論文の完成を目指します。	
オフィスアワー①(10/2~11/16、日時、場所、参加条件等) ・11月1日(木) 12:30-13:30 @本館 323 教室 ・11月7日(水) 12:30-13:30 @第二研究室 2F 会議室 ・11月8日(木) 12:30-13:30 @本館 323 教室 上記時間帯以外で面談を希望する場合は、メールでアポをとって下さい。	
1回目募集時の参加証提出 : 要	1回目で定員を超えた場合の選考方法 : 面接
オフィスアワー②(12/13~12/19、日時、場所、参加条件等) ・12月13日(木) 12:30-13:30 @第二研究室の2F 会議室 上記時間帯以外で面談を希望する場合は、メールでアポをとって下さい。	
法経連携研究指導受け入れ : 可	授業休止期間 : 無

申請コード : 22	教員名 : <small>みずの ともみち</small> 水野 倫理 准教授(産業・社会コース)
研究室 : 第3学舎 412	メールアドレス : mizuno@econ.kobe-u.ac.jp
学生に対する希望・条件 : 条件 : 高校で学んだ微分積分を理解していること。夏休み期間中に行われる他大学との研究報告会に積極的に参加できること。パソコンを使った文書の作成ができること。企業に関心があること。 希望 : ミクロ経済学および経済数学が好きなこと。	
研究指導の内容 : 3年生の第1・2クォーターでは、卒業論文で使うソフトウェア(Maxima)の解説をします。ノートパソコンを持って参加することを推奨しています。第3・4クォーターでは、論文の読み方を解説し、研究計画を作成します。4年生では、ミクロ経済学を使った研究を行い、卒業論文を執筆します。	
オフィスアワー①(10/2~11/16、日時、場所、参加条件等) [1] 10月4日(木) 12:10~13:10 研究室 [2] 10月11日(木) 12:10~13:10 研究室 [3] 10月15日(月) 12:10~13:10 研究室 その他の日時については、メールで問い合わせして下さい。 ※ オフィスアワーへの参加を選考の際に考慮します。	
1回目募集時の参加証提出 : 不要	1回目で定員を超えた場合の選考方法 : 書類選考
オフィスアワー②(12/13~12/19、日時、場所、参加条件等) [1] 12月13日(木) 12:10~13:10 研究室 [2] 12月17日(月) 12:10~13:10 研究室 その他の日時については、メールで問い合わせして下さい。	
法経連携研究指導受け入れ : 可	授業休止期間 : 無

申請コード : 23	教員名 : ^{みやざき ともみ} 宮崎 智 視 准教授 (産業・社会・政策コース) 昨年度開講なし
研究室 : 第3学舎 524	メールアドレス : miyazaki@econ.kobe-u.ac.jp
学生に対する希望・条件 : ①財政や公共政策に関心のある人, ②データ分析に関心のある人, のいずれか一つを満たすこと. なお, 日本だけではなく, 諸外国 (特に OECD 各国) の政策課題に関心のある人も歓迎します. ・但し, ゼミにコミットできない人は歓迎しません. その他, 詳しいことは以下のサイトをご参照下さい. https://sites.google.com/site/tomomisite/lecture/seminar-undergraduate	
研究指導の内容 : 3年生の前期は, 本ゼミで財政学・公共経済学に関する文献, サブゼミで計量経済学の基本的なテキストをそれぞれ輪読します. 併せて, 計量ソフトを使った統計・計量経済分析の基礎を習得します. 後期は三商大ゼミに参加するとともに, 卒業論文の準備に取り掛かります. 4年次は, 卒業論文の作成に専念します.	
オフィスアワー① (10/2~11/16、日時、場所、参加条件等) 日時 : 10/18 と 25, および 11/1 と 8 (いずれも木曜日), お昼休み (12:10~13:10) 場所 : 研究室	
1回目募集時の参加証提出 : 不要	1回目で定員を超えた場合の選考方法 : 書類選考
オフィスアワー② (12/13~12/19、日時、場所、参加条件等) 12/13 (木), 12時30分~13時30分 場所 : 研究室	
法経連携研究指導受け入れ : 可	授業休止期間 : 無

申請コード : 24	教員名 : ^{ゆうがみ かずふみ} 勇上 和史 准教授 (産業・社会・政策コース)
研究室 : 第2学舎 301	メールアドレス : yugami@econ.kobe-u.ac.jp
学生に対する希望・条件 : ・労働に関する個人や企業の行動, その政策的対応に興味がある人を歓迎します。 ・対抗ゼミや合宿などのゼミ活動に積極的に参加できる人を希望します。 ・ゼミも社会の縮図です. 様々な個性を持った学生の応募をお待ちしています。	
研究指導の内容 : ・3年次の前半は, 複数の班に分かれて共同研究を実施します. 後半は, 関西圏の大学との複数の合同ゼミに参加し, 論文作成と討論の方法を実践的に習得します. この他, 学生の選択により, これまでに WEST や三商大ゼミ, ISFJ といった共同論文大会に参加し, 実証分析と政策提言を行いました。 ・対抗ゼミ終了後は各自が関心を抱いたテーマについて文献サーベイを進め, 4年次に卒業論文を作成します。	
オフィスアワー① (10/2~11/16、日時、場所、参加条件等) ・10月10日 (水) 12:30~13:15 研究室 ・10月29日 (月) 17:00~18:00 研究室 ・11月8日 (木) 12:30~13:15 フロンティア館 503 ※終了後ゼミを行います. 自由に見学してください。	
1回目募集時の参加証提出 : 要	1回目で定員を超えた場合の選考方法 : 面接
オフィスアワー② (12/13~12/19、日時、場所、参加条件等) 12月13日 (木) 12:30~13:15 研究室	
法経連携研究指導受け入れ : 可	授業休止期間 : 無

申請コード : 25	教員名 : ^{おくにし たかし} 奥西 孝至 教授 (歴史・思想・比較コース)
研究室 : 兼松記念館 2 階 218 号室	メールアドレス : okunishi@econ.kobe-u.ac.jp
学生に対する希望・条件 : 現在の社会や経済がどのようにしてできあがったかや外国の経済や社会、文化に関心があり、そのことを深く学んでみたいと思っている学生を希望します。	
研究指導の内容 : 現在の経済や社会、文化の様々な事象がどのような経緯・要因によって成立したかを経済学の考え方をを用いて分析する力をつけるために、基本となる経済史の考え方、分析の仕方を学び、学生各自の関心があるテーマについて卒業論文を作成してもらいます。合わせて、社会で働いていく上でも重要となる社会、仕事についての考え方、効率的な時間の使い方についても一緒に考えていきます。また、留学中の学生には遠隔指導等で対応します。	
オフィスアワー① (10/2~11/16、日時、場所、参加条件等) 1 回目、10 月 4 日 (木) 12 : 10~13 : 20、研究室、 2 回目、10 月 22 日 (月) 12 : 10~13 : 20、研究室、 3 回目、11 月 16 日 (金) 17 : 00~18 : 30 研究室	
1 回目募集時の参加証提出 : 要	1 回目で定員を超えた場合の選考方法 : 書類選考
オフィスアワー② (12/13~12/19、日時、場所、参加条件等)	
法経連携研究指導受け入れ : 可	授業休止期間 : 無

申請コード : 26	教員名 : ^{しげとみ きみお} 重富 公生 教授 (歴史・思想・比較コース)
研究室 : 兼松記念館 328 等室	メールアドレス : shigetomi@econ.kobe-u.ac.jp
学生に対する希望・条件 : 担当者の専攻は欧米経済史ですが、ゼミの勉強内容や卒論のテーマはある程度自由に選択していただいています。受け身の勉強ではなく、卒業までになにかひとつのテーマをじっくり研究したいが、まだ特定の対象にしぼりきれていないので、ゼミに入って勉強をすすめながら、考えていきたい。そんな学生の入ゼミを想定しています。	
研究指導の内容 : <ul style="list-style-type: none"> ・3 年次前期は問題意識と基礎知識をある程度共有するために、経済発展や経済的「成功」や「挫折」等のプロセスについて、できるかぎり多くの側面から追求してゆく予定です。 ・後期は各自が選定した文献類を中心として報告し、それをもとに他のゼミ生と討論していただきます。 ・3 年末の三商大対抗ゼミには毎年積極的に参加しています (大阪市大斎藤ゼミ、一橋大森ゼミとの三つ巴戦)。 ・4 年次は、各自の選んだテーマについて卒業論文の段階的報告と作成指導が軸となります。 みなさんの一生の知的財産として残る「作品」である卒業論文を、いっしょに仕上げてください！	
オフィスアワー① (10/2~11/16、日時、場所、参加条件等) 10 月 18 日 (木) 15 : 00~15 : 30 研究室 10 月 31 日 (水) 16 : 50~17 : 20 研究室 11 月 6 日 (火) 10 : 40~11 : 10 研究室 上記の日時に参加できないかたは、メールをいただければ、できるかぎり対応させていただきます。	
1 回目募集時の参加証提出 : 任意	1 回目で定員を超えた場合の選考方法 : 書類選考
オフィスアワー② (12/13~12/19、日時、場所、参加条件等) 12 月 13 日 (木) 15 : 00~15 : 30 研究室	
法経連携研究指導受け入れ : 不可	授業休止期間 : 無

申請コード : 27	教員名 : ^{なごう たかゆき} 永合 位行 教授 (歴史・思想・比較コース)
研究室 : 第5学舎 621	メールアドレス : tngo@econ.kobe-u.ac.jp
学生に対する希望・条件 : 現実の経済社会問題についてとにかく熱く語りたという学生、ゼミ活動に積極的に参加する意欲のある学生を希望します。例年、静岡大学の高倉ゼミとの交歓ゼミを実施していますが、都合により来年度は実施できませんので、三商大ゼミに参加します。この三商大ゼミに参加できる学生を条件にします。	
研究指導の内容 : 3年次は、ディベート、ディスカッション、研究報告等を行い、コミュニケーション能力を高めていきます。また、三商大ゼミに参加するとともに、研究成果をゼミ論文として完成することを目指します。 4年次は、各自の選択したテーマに関する卒論指導を行います。	
オフィスアワー① (10/2~11/16、日時、場所、参加条件等) 10月12日(金) 12:30~13:00 研究室 10月18日(木) 12:30~13:00 研究室 10月23日(火) 12:30~13:00 研究室	
1回目募集時の参加証提出 : 不要	1回目で定員を超えた場合の選考方法 : 書類選考
オフィスアワー② (12/13~12/19、日時、場所、参加条件等) 12月13日(木) 12:30~13:00 研究室	
法経連携研究指導受け入れ : 不可	授業休止期間 : 無

申請コード : 28	教員名 : ^{よしい まさひこ} 吉井 昌彦 教授 (歴史・思想・比較コース)
研究室 : フロンティア館 811号室	メールアドレス : yoshii@econ.kobe-u.ac.jp
学生に対する希望・条件 : 旧社会主義国(ロシアや中東欧諸国)の市場経済移行、あるいはEUに関心を持っている学生を歓迎します。しかし、ロシア、中東欧諸国、そしてEUの経済に関心を持つ学生が大勢いるとは思いませんので、皆さんが習った基礎的なミクロ・マクロの知識を基礎として日本や世界の国々で起きている様々な出来事を積極的、意欲的に理解したいと考えている学生も歓迎します。 その他、詳しくは私のホームページ (http://www2.kobe-u.ac.jp/~yoshii/) をご覧ください。	
研究指導の内容 : 3回生 : ミクロ・マクロ経済学の勉強を随時取り入れながら、日本・世界経済の現況を俯瞰できるテキスト等を読みたいと思います。対抗ゼミについては、京都大学溝端ゼミ、大阪大学藤原ゼミとの3大学対抗ゼミ、そして釜山国立大学、国立台湾大学のEU Center 所属学生との対抗ゼミ(英語)を行っています。1年に1、2度は工場見学等学外での活動を行います。 4回生 : 卒論の作成を行います。	
オフィスアワー① (10/2~11/16、日時、場所、参加条件等) ・10月12日(金) 12:00~13:00 研究室 ・10月16日(火) 12:00~13:00 研究室 ・10月24日(水) 12:00~13:00 研究室 ※日時を変更する場合がありますので、掲示で確認して下さい。	
1回目募集時の参加証提出 : 不要	1回目で定員を超えた場合の選考方法 : 書類選考
オフィスアワー② (12/13~12/19、日時、場所、参加条件等) ・12月12日(水) 12:00~13:00 研究室 ・12月14日(金) 12:00~13:00 研究室 ※日時を変更する場合がありますので、掲示で確認して下さい。	
法経連携研究指導受け入れ : 可	授業休止期間 : 無

申請コード : 29	教員名 : ^{わたぬき} 綿貫 ^{ともこ} 友子 教授 (歴史・思想・比較コース)
研究室 : 兼松記念館 217	メールアドレス : watanuki@econ.kobe-u.ac.jp
学生に対する希望・条件 : 日本の前近代社会だけでなく、幅広い時代や地域の社会情勢に興味・関心と問題意識をもち、多くの文献に接し、調べ、洞察するための作業を厭わず、持久力をもって臨むことができる人を歓迎します。それぞれがゼミの重要な担い手です。活気あるゼミにしてゆくために積極的に参画して下さることを望みます。教育機関での科目履修歴は問いませんが、(高校で履修程度の)日本史と和漢文・古文読解の基礎知識を備えていることを前提にゼミを行います。	
研究指導の内容 : ・1年目は、日本の中近世経済に関する基礎的な史・資料や論文の輪読を主体に行い、併せてそれらの作業を応用し、卒業論文のテーマを明確にし、論文執筆に向けての準備を行う。 ・2年目は、各自が決めたテーマにもとづく研究報告と討論を主体に、卒業論文作成のための指導・助言を行う。	
オフィスアワー① (10/2~11/16、日時、場所、参加条件等) ・10月18日(木) 12:30~13:00 ・10月24日(水) 12:30~13:00 ・11月16日(金) 12:30~13:00 何れも研究室で行います。 上記以外はメールで希望日時を調整のうえ、対応します。	
1回目募集時の参加証提出 : 要	1回目で定員を超えた場合の選考方法 : 書類選考
オフィスアワー② (12/13~12/19、日時、場所、参加条件等) 12月13日(木) 12:30~13:00 研究室 左記以外はメールで希望日時を調整のうえ、対応します。	
法経連携研究指導受け入れ : 可	授業休止期間 : 無

申請コード : 30	教員名 : ^{すずき} 鈴木 ^{じゅん} 純 准教授 (歴史・思想・比較コース)
研究室 : 第5学舎 603	メールアドレス : suzuki.j@econ.kobe-u.ac.jp
学生に対する希望・条件 : ・社会の変化や経済体制のあり方といった少し大きな視点から、あるいは経済と経済以外の領域との関係をふまえて、具体的な経済活動・経済問題を考えることに意欲的な人の応募を期待しています。 ・自分の考えを人に伝え、論じ合うことに積極的な人、または積極的になりたいと思っている人。	
研究指導の内容 : ・3回生 : [少子高齢化, 非営利経済, 福祉国家, 社会保障, ミクロ経済学, 経済政策論] の範囲内からいくつかのトピックを選び、個人・グループで、報告・討論を行います。報告準備の進め方、プレゼンテーションの方法についても学びます。また、三商大ゼミなどに向けて共同研究を行います。 ・4回生 : 各自が選択したテーマについて研究を進め、全体での討論を通じて、卒業論文を作成します。完成後に卒論報告会を開きます。	
オフィスアワー① (10~11月、日時、場所、参加条件等) ・10月29日(月) 12:50~13:20 第3学舎 229 *昼食持込可。同じ部屋で3限のゼミを見学できます。 ・11月12日(月) 12:50~13:20 第3学舎 229 *昼食持込可。同じ部屋で3限のゼミを見学できます。 ・11月14日(水) 12:20~13:20 研究室 いずれの日時にも都合がつかない場合には、メールで面会の約束をとってください。	
1回目募集時の参加証提出 : 要	1回目で定員を超えた場合の選考方法 : 面接
オフィスアワー② (12月、日時、場所、参加条件等) 12月17日(月) 16:40~17:10 第3学舎 229	
法経連携研究指導受け入れ : 可	授業休止期間 : 無

大学院・学部共通授業科目の開講について

—上級科目・Advanced Classについて—

大学院・学部共通授業科目は大学院学生と学部学生がともに同じクラスで学習する科目です。経済学の様々な分野について、深く勉強してみたいという意欲を持つ学生、または将来大学院進学やシンクタンク等への就職を考えている学生にお勧めです。

1. 授業の水準

大学院・学部共通授業科目（上級科目・Advanced Class）は、大学院学生と学部学生が同じクラスでともに受講する科目ですから、学部で行われている一般の講義に比べて水準の高い授業内容になっています。だからといって、学部学生に全く理解できない難解な専門授業を行うわけではありません。担当教員も学部学生の受講を前提に授業内容・水準をデザインすることになっています。学部1、2年生で基礎的な経済学の学習を終えた後、さらに学習を進め、知識を深めたいという希望を抱いている学生諸君には積極的に受講することをお勧めします。

2. 履修のための条件

以下の科目を修得済みであること。

中級ミクロ経済学Ⅰ、中級ミクロ経済学Ⅱ、中級マクロ経済学Ⅰ、中級マクロ経済学Ⅱ、
経済史、統計学

3. 修得単位について

大学院・学部共通授業科目で修得した単位は、専門科目Ⅲ群に該当します。